

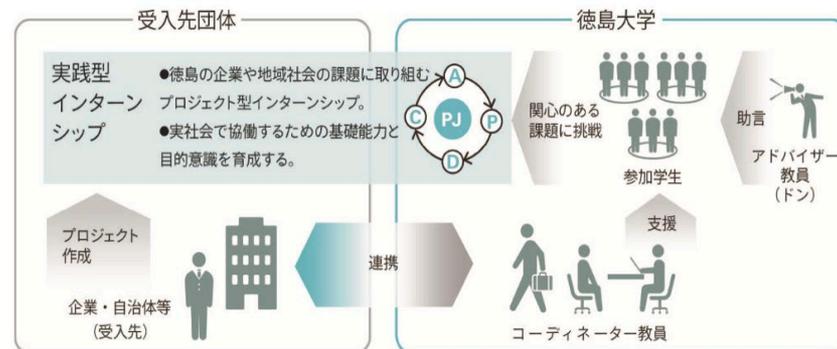
COC+事業及びCOC+R事業 「実践型インターンシップ(経営課題型)」の成果について

人と地域共創センター 特任助教 森脇一恵

1.実践型インターンシップの趣旨、目的

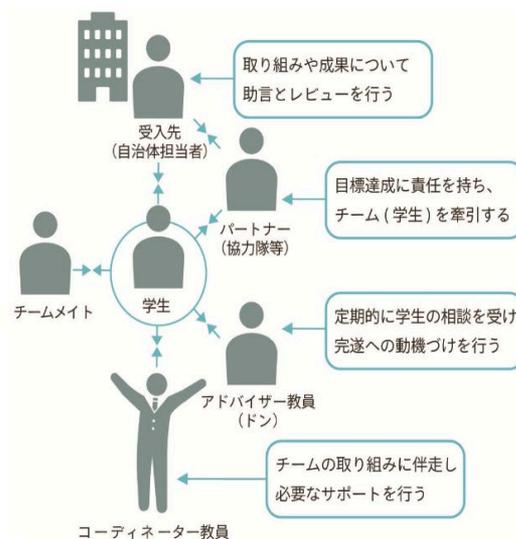
文部科学省COC+事業採択時(2016年)に開発された、徳島県内の企業等の課題から抽出したミッションに対して、受入先と学生が協働して取り組むプロジェクト型のインターンシップである。受入担当者と学生がチームとなって、具体的な課題に約半年間取り組むことで、学生が実社会で協働するための基礎能力と目的意識の育成を目的としている。

受入先とコーディネーターが連携してプロジェクトを組成し、参加学生と企業等とのマッチングを経てインターンシップを実施すると共に、プロジェクトに取り組む中でのアドバイスやメンタリングなど、インターンシップ開始後も、コーディネーターやドン(学内メンター)、修了生サポートチームがプロジェクト達成のための支援を行う。



2.実践型インターンシップの成果

2016年から取り組んだプロジェクト数は約100プロジェクト、参加学生数は約300名である。本発表では学生・企業・大学の三方向からの成果について紹介する。



分野: 科研申請書の研究分野 他の分野名も可 専門: 科研申請書の専門分野
人と地域共創センター

E-mail: moriwaki.hitoe@tokushima-u.ac.jp Tel. 088-656-9888